

考えよう

明日の都留市



「まち」は自分の家と同じです。
家族がその気になれば、いくら
でも住みやすくなるのです。

面積一六一・五八平方キロメートル、その内約八十五パーセントが山林の都留市。ここに人口三万三千人、一万世帯の暮らしがあります。中央道、E電等により首都圏が近くなった本市は、急激な開発が予想され、住宅や道路環境など多くの問題を抱えることになります。

でも自分の家と同じく、誰だって自分の「まち」は住みよいほうがいいはず。私たちはみんな「都留家」の家族なんです。「まち」をよくするのは私たち家族一人ひとりの知恵と協力が必要です。そこから「まち」への愛情もでてくるはず。

市では皆さんといっしょに考え、皆さんの意見を取り入れて、将来に向けての理想的なまちづくりをめざした「都市整備基本計画」の策定を急いでいます。

この計画は、第一に市民の皆さんが何を望んでいるのかを知り、皆さんの意見を反映させることが大切です。そこで市ではまず「まちづくりアンケート調査」を行いました。これは市内の小学校に通う生徒の家庭（三十〜四十代）を対象にしたものですが、お忙しいなか、多くの皆さんから貴重な意見を頂きありがとうございました。結果の概要がまとまりましたので、ご報告します。

♥ 都留市は住みやすいですか

